

第3学年国語科学習指導略案

1 単元名 亡き人を想う—今と昔の哀悼歌—

「レモン哀歌」 （新しい国語3 東京書籍）
米津玄師「Lemon」 （ソニー・ミュージックレコーズ）

2 単元について

本単元は、学習指導要領の〔思考力、判断力、表現力等〕における「C 読むこと」の「ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること」を受けて授業を行う。「レモン哀歌」は妻である智恵子の臨終に立ち会った高村光太郎がその一瞬を描いた詩である。高村光太郎の詩の世界を読み深めるために、生徒にとって身近な米津玄師の「Lemon」を教材として用いる。米津玄師はインタビューで「Lemon」作成の際に「レモン哀歌」の影響があったことを公表している。「Lemon」の歌詞を一つの詩と捉えた上で、二者を様々な見方をもとに比較読みしていく。同じレモンを題材として扱っているが、色彩語の使い方の違いなどから、主題の一つである「死」の捉え方に大きな違いがあることが読み取れる。

単元を指導する際、これまで学習してきた様々な見方を活用しながら詩の読解を行っていくことに留意させる。また、比較しやすいようにベン図を用いながら二者の特徴をまとめていき、詩の主題に迫れるようにする。単元の終わりには「亡き人を想う詩として優れているのはどちらか」というテーマで意見文を書かせ、それぞれの詩の構成や表現の仕方などについての評価を行っていく。

3 単元の目標

- ・ 詩の中に使われている言葉や表現技法の様々な意味を理解し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【知識及び技能】
- ・ 詩の言葉や表現技法などを手がかりに、情景や心情について自分の体験と結びつけて考えたり、考えたことを文章に書いたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】
- ・ 生活の中であふれている言葉に意識的に関わり、詩の読解に取り組み理解しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 詩の言葉や表現技法などを理解し、二つの詩の心情や情景などを捉えるとともに語感を磨き語彙を豊かにしている。（1）イ	・ 詩の言葉や表現技法などを手がかりに、情景や心情について自分の体験と結びつけて考えたり、考えたことを文章に書いたりしている。C（1）ウ	・ 生活の中であふれている言葉に意識的に関わり、詩の読解に取り組み理解しようとしている。

5 単元の学習指導計画（全3時間）

- (1) 「レモン哀歌」と「Lemon」の歌詞から、「あなた」は亡くなっているかどうか考える。
(習得・活用) 1時間
- (2) どちらが亡き人を思う詩として優れているか考え、意見文を書く。(習得・活用)
1時間(本時)
- (3) 意見文を紹介し合い、学習を振り返る。(活用) 1時間

6 本時の学習指導

(1) 目標

- ・ 「Lemon」と「レモン哀歌」を比較して読むことで、それぞれの詩の工夫や描かれた情景などについて自分の考えをもち、意見文に表現することができる。

(2) 学習指導過程

学習内容・学習活動	予想される生徒の反応	教師の支援
<p>1 前時の復習をする。</p> <p>2 学習課題を確認する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「レモン哀歌」と米津玄師の「Lemon」について考えていたな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの詩に描かれたテーマについて確認させる。 ・前時に考えたものを、ノートから振り返るよう指示する。
<p>【学習課題】 亡き人を想う詩として、優れているのはどちらか。</p>		
<p>3 ベン図を用いて、二つの詩を比較して考える。 (1)個人で考える。 (2)班でホワイトボードにまとめる</p> <p>4 全体で交流する。 (1)意見を共有する。 (2)班ごとに質問や意見などを考える。 (3)全体で意見を交流する。</p> <p>5 学習課題に対する考えを意見文にまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「レモン哀歌」は明るい色彩の言葉をたくさん使っているけれど、「Lemon」は暗い色彩の言葉が多いね。 ・どちらも愛する人の死について取り上げているな。 ・「Lemon」は亡くなった後に亡くなった人を想っていて、「レモン哀歌」は亡くなる最中を描いて、亡くなる人への思いを描いている。 ・亡き人への想いの象徴としてどちらもレモンが用いられている。 ・私は死を受け容れているように感じる「Lemon」の方が良いと思う。 ・私は時の流れを表現して、それだけ長く想い続けていることがわかる「レモン哀歌」が良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二つの詩を比較してそれぞれの工夫や良さに気づけるように、ベン図を用いる。 ・班で意見を交流する際、より多くの意見に触れられるように、大きなベン図を用意しておく。 ・より深く詩について考えるために、それぞれの班が発表した後、もう一度各班で話し合い、質問などを考える時間を設定する。 ・各班必ず1回以上他の班に意見を述べるよう指示する。 ・自分が共感した意見や新しい発見などを、自分のベン図に書き足すよう指示する。 ・ノートに10行以上で書くよう指示する。

(3) 評価

- ・「Lemon」と「レモン哀歌」を比較して読むことで、それぞれの詩の工夫や描かれた情景などについて自分の考えをもち、意見文を書くことができたか。

(ホワイトボード、ノート)